

ゆに 議会だより

令和6年度新年度予算を可決

【第1回定例会】町政を問う 一般質問

- 野市裕司 温泉利用の促進
読書習慣の定着と図書館の役割
- 東 貴之 町立診療所の建替え
- 中村隆浩 由仁町の若者担い手との現状と今後の関わり

町民の安心を つなぐ 守る



国民健康保険由仁町立診療所

令和6年 第1回定例会

令和6年第1回定例会は3月5日に招集され、会期を21日までの17日間として開会しました。

諸般の報告（会務報告、例月出納検査報告、定例監査報告）、行政報告、教育行政報告の後、町政執行方針、教育行政執行方針が行われ、一般質問は3名の議員が計4件の質問を行いました。

付議事件は、総合計画基本構想1件、条例の制定1件、条例の一部改正10件、令和5年度各会計補正予算7件、財産の無償貸付け1件、会議案2件、意見書案1件を慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、令和6年度各会計予算案は、予算審査特別委員会に付託され審査を行い、委員会の議決のとおり原案可決しました。

	付議事件	主な内容
計 画	第七次由仁町総合計画基本構想について	第六次由仁町総合計画の計画期間が令和5年度で終了するため、新たに令和6年度から令和13年度までの8年を計画期間とする「第七次由仁町総合計画」を策定
条 例 の 制 定	由仁町中小企業等振興基本条例の制定について	中小企業等が当町の経済の発展に果たす役割の重要性に鑑み、中小企業等の持続的な成長及び発展、地域経済の活性化を図るため、条例を制定
条 例 の 一 部 改 正	由仁町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和6年度から令和8年度までを計画期間として見直しを行った「第9期介護保険事業計画」に基づき、条例の一部を改正
	由仁町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正
	第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例において、新たな職の区分として「運転専門職」を設けることに伴い、条例の一部を改正

	付議事件	主な内容
条例の一部改正	公共施設建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について	基金の処分に当たって、現在は「建設」に要する費用しか財源として充当できないものを「改修」に要する費用にも充当することができるよう条例の一部を改正
	由仁町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正
	由仁っ子医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	医療費の助成対象を拡大し「18歳到達後年度末まで」とするため、条例の一部を改正
	由仁町地域福祉支援事業条例の一部を改正する条例の制定について	緊急通報装置設置事業において、設置対象者を拡充するため、条例の一部を改正
	由仁町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	条例の基準である厚生労働省令の一部改正が公布されたことに伴い、条例の一部を改正
	由仁町企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	課税免除等に係る地方税の減収補てん措置が3年間延長となったことに伴い、条例の終期を延長するため、条例の一部を改正
	由仁町水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例及び由仁町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	水道法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例の一部を改正
財産の無償貸付け	財産の無償貸付けについて	J F E エンジニアリング株式会社が行う森林整備に伴い、町有地を無償で貸付ける
会議案	閉会中の所管事務調査について	常任委員会の所管事務調査事項について承認
	議員派遣について	市町村議会議員特別セミナーへの派遣
意見書	将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書について	左記の意見書を採択し、衆参両議院及び関係省庁等に提出

令和6年度予算を可決

一般会計・特別会計・企業会計予算総額
9,008,467千円（前年度比0.9%増）

（単位：千円）

会計名		令和5年度 6月補正後	令和6年度 当 初	比 較	伸率(%)
一	般 会 計	5,319,404	5,239,177	△80,227	△1.5
特 別 会 計	国民健康保険会計	904,875	889,995	△14,880	△1.6
	農業集落排水会計	344,632	0	△344,632	皆減
	介護保険会計	721,450	793,206	71,756	9.9
	後期高齢者医療会計	107,331	116,005	8,674	8.1
	診療所会計	558,334	591,938	33,604	6.0
	介護老人保健施設会計	140,373	137,335	△3,038	△2.2
企 業 会 計	水道事業会計	831,959	773,847	△58,112	△7.0
	収益的支出	506,682	506,817	135	0.0
	資本的支出	325,277	267,030	△58,247	△17.9
	農業集落排水事業会計	0	466,964	466,964	皆増
	収益的支出	0	323,993	323,993	皆増
	資本的支出	0	142,971	142,971	皆増
合 計		8,928,358	9,008,467	80,109	0.9

前年度が町長・町議会議員の改選期であったため、各予算の比較については、前年度6月補正後の予算と比較しています。

令和6年度の主な新規事業等

- 公共施設の照明器具のLED化
- 小・中学校等のエアコン設置
- 由仁っ子医療費の助成対象年齢拡大
- 不妊治療等助成事業
- デマンドバス購入

令和5年度補正予算を可決

令和5年度各会計補正予算は、原案のとおり可決しました。

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	補正後の額
		主な内容		
一般会計		5,762,559	△145,835	5,616,724
		企業版ふるさと納税の増加に伴う積立金の増額 施設園芸生産基盤緊急支援事業費の追加 事業費などの確定に伴う予算整理		
特別会計	国民健康保険会計	905,179	△4,590	900,589
		保険給付費及び保健事業費の減額		
	農業集落排水会計	344,211	△23,950	320,261
		修繕料の増額及び事業費などの確定に伴う予算整理		
	介護保険会計	788,397	△60,227	728,170
		保険給付費及び地域支援事業費の減額 基金積立金の増額		
計	診療所会計	542,556	△13,002	529,554
		医薬材料費の増額 人件費などの予算整理		
	介護老人保健施設会計	125,750	△4,341	121,409
	人件費などの予算整理			
企業会計	水道事業会計	511,760	2,217	513,977
	事業費などの確定に伴う予算整理			

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回、臨時会は必要に応じて開かれます。

事前の申し込みは不要です。

直接、議場にお越しください。

次回の定例会は6月に開かれる予定です。



詳しい日程は、ホームページでお知らせします。



野市議員

温泉利用の促進について

温泉には様々な効果、効能があり健康を維持していく上でとても役に立つものです。

幸い由仁町にはユニニの湯があります。しかしながら町民の利用率は2割にも満たない状況だと聞き、非常にもつたいたいと感じているところです。

もちろん経営されているのは一般企業であり、町でないことは存じていますが、町民の方々に間くと価格が高い、交通の便が悪いという声が多数ありました。

町民が気軽に利用できる何らかの施策を講じ、温泉利用の促進につなげていくことはできないでしょうか。

町長答弁

ユニニの湯の日帰り入浴料は中学生以上の大人は800円であり、近隣の温泉と比較すると50円から150円高い料金となっております。

この温泉は民間企業であることをご負担と、例えば町が公費を投入して入館料金を下げることが、他の民間企業との公平性を損なうことになり、実施すべきでないと考えています。

また、町では自宅にお風呂が設置されていない住民に対する公衆衛生を確保するため、無料送迎バスの運行に対して費用を助成するとともに、令和6年度につきましてもお風呂のない方を対象にしたバス運行を予定しているところであります。

【再質問】

温泉利用は健康維持にはもちろんですが、地域のコミュニティとして交流の場としても利用でき、町全体の活性化にも繋がります。プラスの経済効果も期待できるのではないのでしょうか。

町長答弁

ここで町のコミュニティということをもつてして、ユニニの湯だけを取り上げて町が積極的にPRすることは考えていません。

観光協会が中心となって、町にある施設をすべてPRしていくことが重要だと思っています。

【再々質問】

由仁町には素晴らしい宝がたくさんあります。それらを利用し町の発展につなげていけることを願います。質問を終わらせていただきます。

町長答弁

最後にお願いを込めてお話しをさせていただきます。

町では保健福祉課が中心となってKCM事業というものに取り組んでいます。

これは特定検診を受けていただければ、ユニニの湯もパークゴルフ場も、配布されるげんきチケットによって、割引料金で町内の様々な施設の利用、あるいは買い物ができます。

そういった事業に取り組んでいます。

健康増進も含めまして特定健診の受診を議員からも勧めていただきたいというのが私のお願いです。

用語解説

「KCM事業(検診受けて、チケットもらって、まちで使おう事業)とは」

町民の健康づくりと町の活性化を進めるために、健診を受けた方へ町内で使える割引チケット(げんきチケット)と減塩食品お試し券を交付する事業です。



読書習慣の定着と図書館の役割について

読書の習慣は新しい知恵を獲得し、人生を豊かに、力強く乗り切っていくために欠かせない行動様式だと思います。そして知恵を獲得するその「知の拠点」がゆめつく館であると思います。

町民全体がゆめつく館を利用し、読書の習慣化が進み、由仁町が「読書の町」と言われるくらいになることを願い、質問をさせていただきます。

- ① 読書の習慣化に向けた具体的な取り組み
- ② ゆめつく館の利用促進に向けた工夫
- ③ 由仁町ホームページを活用したゆめつく館の様々な情報発信の具体的内容

教育長答弁

公共図書館調査の結果では、ゆめつく館の人口1人当たりの貸出し資料数は4.16冊、これは空知管内でも高い数値となっています。

す。

質問の1点目ですが、読んだ本を記録できる読書通帳を配布し、読書意欲を高める取組、おはなし会の開催や絵本の展示、図書館司書の仕事を体験する司書体験など読書の習慣化を促進する取組、利用者の図書リクエストに応えるため、北海道立図書コーナーの設置、新たな本との出会いを提供する新春新刊福袋や古本市の開催、小学校の図書室に職員が毎月訪問し、本を紹介し貸し出す取組など様々な事業を行っています。

本年1月からは新たに子育て世代の読書支援事業として三川保育園で保護者に図書を貸し出す「気ままに1冊」という事業も開始しました。

質問の2点目としては、子育て世代向けにおすすぬ絵本ガイドを配付したり、高齢者に向けては、読みやすい大活字本をそろえ、また、軽くて持ち運びやすい文庫を充実させたコーナーを設置しています。

今後は学習やコミュニティの場として活用できるスペース(ラーニング commons)の整備なども検討していきたいと考えているところです。

質問の3点目ですが、各種イベント案内や新着図書の紹介、館内で実施している特集展示などを町のホームページで発信することで、多くの情報を町内外にお知らせし、ゆめつく館の利用促進を図っていきます。

将来はゆめつく館独自のホームページを開設し、よりよい読書環境の整備についても検討していきます。

【再質問】

今、読書については、貸出しがメインになっていると思うのですが、図書館内で気軽に本を読むスペースがもう少し広くてもいいのではないかと思っています。

喫茶コーナーのようなところで談笑ができたり、情報交流ができるような場があれば人もたくさん集まってくるのではないのでしょうか。

教育長答弁

先ほど議員も言われましたカフェを設置している図書館については、公共図書館では札幌市の

中央図書館とか石狩市民図書館があります、事業者へ委託して図書館のスペースの一部を貸し出して、カフェを実施しているという例もあります。

いずれもそういう民間事業者がいなくてできませんので、町にとって費用対効果があるかどうか、町民のサービスに向上するかなども含めて、総合的に検討していければと考えています。



ゆめつく館



東議員

町立診療所の建替えについて

町長は、「行政組織検討委員会の意見を聴きながら、施設の廃止や更新、長寿命化について長期的な視点を持って」と本年も昨年に引き続き町政執行方針で述べられておりますが、診療所においては今の医療の運営上、廃止や休止ということにはなり得ないと私は考えています。

また、昨年外壁の一部改修工事が行われましたが、建物自体が築50年を超えるものなので、とても長寿命化は望めないのではと思っております。また、常々診療所を利用する患者さんや町民から古くなった診療所を建て替えてほしいという声を多く耳にします。

現時点での診療所施設建て替えに対する町長の考えをお聞かせ下さい。

町長答弁

私は町立診療所を廃止する考えはありません。行政組織検討委員会においても町立診療所の存否を問う議論を進める考えは今のところありません。

当町において診療所は、地域において在宅医療と入院医療を切れ目なく提供し、地域包括ケアシステム推進の一翼を担うために欠くことのできない医療機関です。診療所の建物は、昭和45年に建設し、さらに平成29年度に耐震化を含む大規模改修工事を行い、必要な維持修繕を行いつつ使用しているところですが、もう既に建築から50年以上が経過し、老朽化が著しく、たとえ施設の延命を図ったとしても多額の費用と今の時代の新しい医療サービス、ニーズに対して提供することが難しいことから、できるだけ早くに建て替えなければならぬと考えています。

当町においては防災への備えも喫緊の課題でありまして、執行方針で申し上げましたとおり、災害時には活動拠点や避難場所となる複合的拠点施設の整備を早急に進める必要があることから、まずはこの施設の整備の目的が立ちましたら直ちに診

療所の建て替えに着手したいと考えています。

建て替えに当たりましては、町民にとって必要な医療サービスを提供するために、その機能を十分に発揮できる新しい診療所としたいと考えており、今年度は当初予算に建て替えに向けた調査、視察のための費用を計上し、検討を進める予定です。

診療所、病院というのは大変難しい施設だと私は考えています。

現在の医療技術の発展を考えますと、一度建てたら50年維持しなければならぬということのは難しいのではないかと、むしろ工事にそれほどお金をかけないで価格をずっと抑えて、少なくとも起債の償還が終わった頃には、また新しい医療技術に対応した施設に転換するというような発想も必要ではないかと考えているところです。

これは事務方ではなく、ドクター、看護師も含めて現場で実際に働く職員の方が、先進地、特に当町では在宅医療を推進していますので、どういう形で、どういう診療所で、あるいはどういう病院で在宅医療を提供しているのか、その辺をしっかりと見極めて新たな診療所の建設に向けて進めたいと考えています。

【再質問】

防災機能を兼ね備えた複合的拠点施設の整備が調整されていますが、例えば同じエリア内に診療所を併設するなど、集約により利便性の向上が期待できると思いますが、公共施設等の集約に対する考えはありますか。

町長答弁

病院の場合は、ほかの公共施設と異なり、一旦中止するということができませぬ。入院患者もいます。

例えば、診療所を栗山の日赤のように空いている敷地内に建てるというようなことが現在の診療所で可能であれば、それも一つの方法だと思えます。それが可能でないのであればどこかに場所を移し替えて、現在の診療サービスを提供しながら新しい診療所を建てるという方法を取らなければならぬと思います。

これをしっかりと見据え、どういう方法で進めていくのか、医療サービスをストップするわけにはいきませんので、そこをきちんと見極めながら検討していきたいと思えます。



中村議員

由仁町の若者担い手との現状と今後の関わりについて

現在由仁町の人口は4、642人で、そのうちいわゆる若者や次世代の担い手と言われる18歳から39歳までの人口は668人、総人口の比率にすると14.4%と現代の少子高齢化の流れも踏まえて非常に厳しい現状です。

しかし、その中には将来まちの発展やまちを支えていく人材が多く埋もれていると思います。その若者たちがそのチカラを発揮できる場をつくるには行政と若者の結束が不可欠だと感じます。また、これからの現状のためにもまずは業種や性別を問わない若者のタテとヨコのつながりが必要ではないでしょうか。

そこで町長にお伺いします。

当町における行政と若者担い手との現状をどのように捉え、今後の関わりについて考え方をお聞かせください。

町長答弁

当町にはかつて由仁町青年団体協議会という組織がありました。元々は各農家自治区青年会の連合組織でした。

その後、全町の組織として業種、性別を問わない若者が集う組織へと発展をして、碧南市との青年交流をはじめ、各種研修会、イベント企画、また、夏まつり百足競争もこの団体から発展したものです。

しかし、当町の行政委員などにも積極的に人材を輩出しましたが、少子高齢化に伴う会員や役員の担い手不足から、平成13年に解散したところでした。

現在では農協や商工会の青年部、4Hクラブ、さつまいもクラブなど若者が一生懸命に頑張っている姿は目にしています。本業や組織と直接関係しない活動の場には自発的に参加する若者も少なく、また、そのような場も無いのが現状です。

平成29年に業種や性別を問わない若者同士の新たな関係を築ける場として、各種講座やワークショップを通じて将来の由仁町を担うリーダーを育成するといったことを目的とした若者担い手育成塾を設立しました。世代交代がうまくいかなかったことや役場主催の集まりという認識から、やらされている感などもあったようで、現在では継続が困

難となっております。

行政主導での活動はやはり長続きしないと感じる状況です。

また、今後の関わりについての考え方という質問ですが、若者が業種にとらわれない横断的な組織の形成と自発的な行動に対する側面的な支援を考えています。

【再質問】

現在由仁町在住の若者たちには自分の仕事をもちながら、冬季の除雪オペレーターや町の環境整備などの労働力で地域に貢献していただいていますし、一部の町職員も消防団員としてまちを支えていることに感謝をしています。

そして、いずれは各組織の役員や各自治区の役員等になる年齢となります。しかし、現状であつては業種や組織ごとのタテのつながりはあってもヨコのつながりが少なく、みんな何かを考える、一緒に行動を起こすといったことができない状況ではないでしょうか。

そこで、今の由仁町に必要なものは何かを学ぶ場が必要と感じます。町の過去を知り、現在を見つめ、未来に向けて考え知恵を出し合い、役場職員も含め若者がお互いを理解し、一緒に行動を起こせる組織づくりというのはどうでしょうか。

町長答弁

平成29年に設けた若者担い手育成塾は、松下政経塾を模範に塾の卒業生が由仁町の行政、産業、様々なものを担っていくと考えていました。

しかし、その思いが強過ぎたのか分かりませんが、塾継続が困難な状況です。是非、側面的な支援になりますがこの塾を活用すると良いと思います。

かつては役場の職員が由青協に入ることで異業種の交流がありました。が今はありません。

また、色々なスポーツ連盟もありました。その活動の中で職員が町民の方と接し色々な情報やお互いの仕事の良き理解者として、持ちつ持たれつの良い関係があつたのですが、そのような組織も無くなっています。

さらに、役場の職員は町民の皆さんとの接点がもっと必要だと思っています。

ですから若者の学びと交流の場にこの塾がなつてほしい。ぜひヨコの世代もたくさん集め、タテのつながりもしっかりと兼ね備えた組織づくりのためにお手伝いします。思いは同じだと思しますので、よろしくお願ひします。

行政報告（町長）

デマンドバスの運行状況について

昨年10月から本年2月末までの利用者数は延べ1,516人、実人数で201人、1日平均の利用者は約11人となり、前年同月と比べると利用者数、実人数ともに約3倍、1日平均の利用者は約2倍と上昇しました。

ふるさと寄附金の受付状況について

今年度の寄附金は、受付ベースで2月末現在で7,891件、1億4,237万円となっており、前年度同時期と比べると件数では1,128件の減少、金額では約5万円の増加となりました。

由仁町農畜産物加工センターの休止について

そらち南農業協同組合から、利用件数の減少や、維持管理費用の増加など、管理運営に係る負担が大きいことから、本業務から撤退する旨の申出がありました。これを受け、町では指定管理者の募集を行いました但応募はなく、指定管理による施設の継続ができなくなりました。また、町直営の運営についても、人員の確保など困難であることから、4月以降の利用を休止することとしました。

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

これまで実施してきた無料接種は、3月31日をもって終了し、4月1日以降は接種費用が有料となります。今後も接種を希望するみなさんが安心して接種することができるようしっかりと周知を行いながら対応していきます。

教育行政報告（教育長）

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

当町の結果は、令和4年度と比べて小学生男子は0.5ポイント、小学生女子は2.0ポイント上昇しましたが、中学生男子は2.9ポイント、中学生女子は2.8ポイント低下し、体力合計点は、小中学校男女ともに全国平均を下回りました。

また、朝食の欠食やスマートフォン、ゲーム機等の視聴時間が全国平均と比べ多い状況です。

この調査結果を踏まえ、体力づくりや規則正しい生活習慣の定着を図ることが重要だと考えています。

令和6年3月中学校卒業予定者の進路状況について

由仁中学校卒業予定者28名全員が高等学校への進学を希望しています。公立高校は、岩見沢緑陵高校に9名、岩見沢農業高校に5名、長沼高校に2名、栗山高校、岩見沢西高校にそれぞれ1名、管外の千歳高校に2名、苫小牧西高校、有朋高校にそれぞれ1名、私立高校は、札幌日大高校に3名、とわの森三愛高校に2名、飛鳥未来高校に1名出願しました。

小中一貫教育の取組について

昨年12月19日に中学校の数学担当の教員が小学校6年生に対し、中学1年数学の入門的な授業を実施しました。

また、2月16日には中学校の新生入学説明会に合わせ、小学校6年生が一日体験入学を実施しました。

教育関係行事について

2月4日、由仁町スポーツ少年団本部主催のスポーツ交流会が行われ、町内のスポーツ少年団員16名が参加しました。立命館慶祥高校ラグビー部の学生の協力を得て、パスの練習やミニゲームなどを行いました。

第1回臨時会

令和6年1月19日開会

次の事件について慎重に審議し、原案のとおり可決しました。

	付議事件	主な内容
一部改正 条例の	由仁町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	戸籍法の一部を改正する法律及び関係政省令の施行に伴い、条例の一部を改正

次の施設について指定管理者の指定を可決しました。

施設名	指定管理者	期間
ゆにガーデン	東武緑地株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日
由仁町体験農園	東武緑地株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日
由仁町三川会館	日盛ビル管理株式会社	令和6年4月1日～令和9年3月31日
伏見台球場	東武緑地株式会社	令和6年4月1日～令和7年3月31日

一般会計補正予算は、原案のとおり可決しました。

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
	主な内容		
一般会計	5,697,422	65,137	5,762,559
	能登半島地震義援金及び担い手確保・経営強化支援事業補助金の計上 由仁町物価高騰等支援給付金の増額		

第2回臨時会

令和6年2月9日開会

次の事件について総務産業常任委員会に付託しました。

- 由仁町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 第七次由仁町総合計画基本構想について

その後、総務産業常任委員会により慎重に審査され、第1回定例会において原案のとおり可決しました。

議会のうごき

1月

24日 三役会議 (正副議長室 議会三役)

2月

- 1日 空知町村議会議長会第1回定期総会
(栗山町 議長)
- 9日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 9日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 9日 由仁町議会第2回臨時会 (議場 議員)
- 9日 総務産業常任委員会 (委員会室 委員)
- 14日 道央廃棄物処理組合議会第1回定例会
(千歳市 組合議員)
- 22日 南空知葬斎組合議会第1回定例会
(議場 組合議員)
- 24日 第48回第七音楽隊定期演奏会
(恵庭市 副議長)
- 25日 創価学会青年主張大会 (ふれーる 議長)
- 25日 渡辺孝一南々空知連絡協議会代議員会
(町内 議長)
- 26日 南空知消防組合議会第1回定例会
(栗山町 組合議員)
- 26日 南空知ふるさと市町村圏組合議会第1回定例会
(岩見沢市 組合議員)
- 27日 石狩東部広域水道企業団議会第1回定例会
(恵庭市 組合議員)
- 28日 南空知公衆衛生組合議会第3回定例会
(長沼町 組合議員)

3月

- 1日 三役会議 (正副議長室 議会三役)
- 1日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 1日 全員協議会 (委員会室 議員)
- 1日 空知教育センター組合議会第1回定例会
(滝川市 組合議員)
- 1日 横井弘一氏緑白綬有功章受章祝賀会
(町内 議長)
- 4日 1市3町自衛隊入隊者壮行激励会
(夕張市 議長)
- 5日～21日 由仁町議会第1回定例会
(議場 議員)
- 8日 三役会議 (正副議長室 議会三役)
- 8日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 8日 北輝男氏・大西勝博氏北海道産業貢献賞受賞祝賀会
(栗山町 議長)
- 12日 由仁中学校卒業証書授与式
(由仁中学校 議員)
- 14日 総務産業常任委員会 (委員会室 委員)
- 15日～18日 予算審査特別委員会
(委員会室 委員)
- 15日 総務産業常任委員会 (委員会室 委員)
- 15日 議会運営委員会 (委員会室 委員)
- 19日 由仁小学校卒業証書授与式
(由仁小学校 議員)
- 21日 議会広報特別委員会 (委員会室 委員)

編集後記

今シーズンは積雪も少なく雪解けも進み、日増しに春の訪れを感じるようになってきた時期となりました。

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、少しずつ普通の生活に戻りつつある中、町内でも飲食店が新たに2軒でき、にぎわいもでてきたところです。

また、議会では3月の定例会において、令和6年度の各会計予算案を原案どおり可決しました。

新規事業の取組により、安心して子育てができる環境づくりや高齢者の介護、医療サービスが少しずつ整備されているところが、これからも町民の声を聞かせていただき、議員一丸となり、住みよく魅力ある町づくりに取り組んでまいりますので、よろしくお祈りいたします。

委員 東 貴之

議会へ町民の皆様の声を届けてください

「住みよいまちづくりのため」に、ご意見、ご要望をお待ちしています。

連絡先

TEL 0123-83-2111 FAX 0123-83-3020
e-mail gikaijimu@town.yuni.lg.jp

※匿名分は除かせていただきます